



# なんとかしなきゃ!

見過ごせない——55億人

## なんとかしなきゃ! プロジェクト 1年目の取り組み

市民参加型の国際協力推進活動として、2010年7月27日にスタートした「なんとかしなきゃ! プロジェクト——見過ごせない55億人」。国内の市民団体、国際機関、政府機関、企業、地方自治体、教育機関など、国際協力の担い手が連携して情報発信することで、国際協力への関心、理解、支持、そして行動・参画が波紋のように社会全体に広がっていくことを目指しています。



なんとかしなきゃ! プロジェクトウェブサイトのトップページ(<http://なんとかしなきゃ.jp>)



スリランカ訪問中の知花くららさん。青年海外協力隊の活動現場にて東ティモールの子どもたちに囲まれる塩谷瞬さん

プロジェクトでは、国際協力NGOセンター(JANIC)、JICA、国連開発計画(UNDP)の3者で実行委員会を結成し、約200のメンバー団体と連携して開発途上国の課題と支援の現状や、身近なところから参加できる国際協力の情報を伝えています。

情報の発信源は、なんとかしなきゃ! プロジェクトの特設ウェブサイト(<http://なんとかしなきゃ.jp>)。また、国際協力に関心のある著名人・有識者がボランティアのメンバーとして参加し、それぞれの発信力を生かしてメッセージを伝えていることもプロジェクトの特徴のひとつです。

著名人・有識者メンバーが開発途上国

の現場を訪れ、感じたことを自らの言葉で伝えるという企画も実現しています。2010年8月にスリランカを訪れた知花くららさん、2011年1月に東ティモールを訪れた塩谷瞬さんは、それぞれ雑誌やブログ等で情報発信するとともに、トークショーを開催して生の声を伝えました。

こうしたイベントに参加した人々からは、「著名人の活動を通じて、JICAや国際協力NGOの存在にも興味をもつようになった」「自分にも何ができるか、考えるいいきっかけになった」等、大きな反響が寄せられています。

国際協力の第一歩として、まずイベントやセミナーに参加したいという人も多く、ウェブサイトでは都道府県や地域別

のイベント情報も充実させています。2010年9月25日には広島市内で、「リーグのサッカーチーム・サンフレッチェ広島の試合前に選手から「なんとかしなきゃ! 宣言」を伝え、国際協力への思いを語るという催しがあり、サッカーファンを中心に6,000人が参加しました。

なんとかしなきゃ! プロジェクトでは、趣旨に賛同して活動を応援してくれる人を「サポーター」と称し、ウェブサイト登録を呼びかけています。目標人数は3年間で5万5,000人。たくさんの思いが集まれば、日本も世界も動かすことができるかもしれない……。そんな願いを込めて、プロジェクトはこれからも走り続けます。